

パンとプリン開発 おいしく食べてね

三種町・浜口小 4～6年生 きょうも販売 収穫したサツマイモ使用



商品を販売する浜口小の児童

< 商品を販売する浜口小の児童 >



< 17日に販売されたサツマイモを使ったパンとプリン >

会計などを行った。買い物客に「いらっしゃいませ」と元気よく声を掛け、商品をPRしていた。販売開始前から行列ができる盛況ぶりで、各100個が20分余りで完売した。5年の加賀谷彩さん(11)は「地域の人たちに、浜口小で作っているサツマイモをおいしく食べてもらいたいという思いで商品を考えて。お客さんが多くて大変だったけれど、みんな笑顔になってくれてうれしかった」と話した。22日は、午前10時40分から11時ごろ、ポポロの店頭で別の商品を販売する。サツマイモとごまを使った「元気100倍ごま入りサツマッサン」(105円)と、角切りしたサツマイモが入った「やみつき!プレミアムプリン」(200円)をそれぞれ100個用意している。(佐々木優)

(令和3年11月22日(月)秋田魁新聞より抜粋)

三種町浜田の浜口小学校(大久保喜徳校長、82人)の5、6年生計24人が17日、全校児童で育てたサツマイモを使って開発したパンとプリンを同町浜田の八竜ショッピングセンターポポロで販売した。22日には4年生が販売する。

同校では毎年、全校児童がグラウンド脇の畑でサツマイモを育てている。今年は10月末に収穫。通学路の見守りなどでお世話になっている地域住民に贈ったほか、1～3年生が町内の直売所で販売した。

商品開発は4～6年生が挑戦。自分の思いを表現したり、社会のさまざまな人と関わったりする経験につなげようと同校が初めて実施した。児童は7月上旬ごろから、総合的な学習の時間を使って商品のアイデアを出し合った。それを基に、ポポロ内のパン店「メルシィ」が試作し、完成。商品名やパッケージに貼るキャラクターは児童が考え、商品の製造はメルシィが担った。17日はサツマイモを使ったパン「浜小特製サツマッサン」とプリン「濃厚!やさしくなるプリン」を販売。児童は分担して宣伝や袋詰め、